

『青春期の健康・発達調査に関するコホート調査（東京ティーンコホート）』

に参加された皆様へ

本研究はおかげさまで順調に発展しており、東京大学内外の他部署との共同研究も増えています。このため、新たに追加された研究協力施設の一覧をお伝えさせていただきます。また、これに伴い、遺伝子解析データの扱いをより厳格にし、個人情報保護を徹底していくための変更を行っております。

【研究課題】

「青春期の健康・発達に関するコホート調査」における遺伝子解析研究（サブサンプル）
審査番号 G3583-(15)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

- 主任研究施設：東大精神神経科（東大コホートセンター）
＜研究責任者＞ 笠井 清登（かさい きよと） 東京大学大学院医学系研究科 教授
- 共同研究施設：東京都医学総合研究所、総合研究大学院大学
＜共同研究者＞
西田 淳志（にしだ あつし） 東京都医学総合研究所 主任研究員
長谷川 眞理子（はせがわ まりこ） 総合研究大学院大学 教授
- 研究協力施設：理化学研究所、熊本大学、帝京大学、国立研究開発法人放射線医学総合研究所、大阪大学、名古屋大学、ATR 脳情報通信総合研究所、東京都立大学（旧 首都大学東京）、麻布大学、東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構（東京大学進化認知科学研究センター）

この研究に利用する試料、資料・情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日～5年間

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

本研究にて一回以上 DNA 解析のための唾液検体をご提出いただいたことのある方

【研究目的・意義】

遺伝子（ゲノム）とは、人間の身体の設計図にあたるものです。人間の身体は約60兆個の細胞から構成され、ひとつひとつの細胞の中の「核」という部分に遺伝子が入っています。この遺伝子の指令にもとづいて人間の身体は成長し、維持されています。近

年の様々な遺伝子研究により、青春期のこころと体の発達にも、様々な遺伝子が関与することが分かってきました。また、お子さんたちを取り巻く環境が、遺伝子のはたらきに影響を与えること（エピゲノム効果）も分かってきました。そこで、この研究では、お子さんの唾液から「遺伝子」を抽出してゲノム・エピゲノム情報を解析します。さらに、東京ティーンコホートの第一期調査、第二回継続調査の結果と合わせた分析も行い、思春期の脳やこころの発達のプロセスを、より詳しく知ることを目指します。

全ゲノムレベル解析と、青春期の発達に関連すると思われる遺伝子情報の解析を行うことで、青春期の脳やこころの発達のプロセスを知ることを目的とします。

【研究の方法】

東京大学コホートセンターに到着した唾液は、現在氏名・住所・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした（匿名化）上で安全に保管させていただいております。今後は匿名化した唾液を理化学研究所・熊本大学に送付し、理化学研究所・熊本大学にて研究員が唾液中の白血球に含まれる遺伝子を取り出し、匿名性を保ちながら遺伝子情報を解析します。

厳密な個人情報保護のために、唾液検体を送付及び、取り出された遺伝子情報を東大に返送する際には、他の東京ティーンコホートで得られた質問紙のデータは添付せず、匿名化された唾液検体及び遺伝子情報のみを送付いたします。

遺伝子解析に関しては、以下の要領で行います。

①全ゲノムレベルでの解析

②脳やこころの発達と関係する可能性のある遺伝子の解析

を行います。候補遺伝子としては、モノアミン系などの神経伝達に関わる遺伝子、神経栄養因子など神経発達と維持に関わる遺伝子、視床-下垂体-副腎系に関与するホルモンやレセプターなどを予定しています。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や資料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取り出された遺伝子情報は匿名化の上で、東京大学精神神経科内の特定の研究室にあるインターネットに接続されないパソコンでのみ扱えることとします。遺伝子解析データを同研究室から移動させる際には、データを個人識別できない基準まで落とし込んだことを確認して提供し、学外施設でも同様の個人情報管理体制であることを確認したのち提供を行いません。また、東京大学外との共同研究は、各共同研究機関の倫理委員会で承認された方法に則って行いません。

この研究のためにご自分の試料や情報・データ等を使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

本研究で得られたデータのうち、遺伝子多型の頻度情報や配列情報を、「ライフサイエンス統合データベース」や、文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」などの公共データベースに登録することがあります。以上のデータベース登録は、遺伝子情報が本研究のみでなく他の遺伝子研究に使用されることに同意をいただいた場合に限って、匿名化した上で、行われます。

収集した試料や情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会および東京都医学総合研究所の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究は、東京大学倫理委員会の承認を受けて実施するものです。なお、この研究は文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究（「当事者化」人間行動科学）から支出されております。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2022年3月

【問い合わせ先】『青春期の健康・発達調査』事務局
連絡先 TEL： 0120-551-327
住所：〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6
一般社団法人 輿論科学協会